

科学における女性と女児の国際デー 記念セミナー

International Day of Women and Girls in Science

東北大学
教職員・学生
歓迎

“We must believe that we are gifted for something, and that this thing, at whatever cost, must be attained.”

”

MARIE CURIE

#WomenInScience

女性研究者数増加のための アファーマティブアクション 女性限定公募の意義と課題

日本の材料科学分野は女性研究者の割合が極めて低く、このような著しいジェンダーギャップの存在はイノベーションの阻害要因であると今日では考えられています。対応策のひとつとして、研究者の女性限定公募が金研を含めて国内で広く実施されています。

一方、このような「アファーマティブアクション」の正当性、留意点について、研究者や研究者の卵の理解が進んでいるとは言い難い現状です。そこで、アファーマティブアクションの正当化について、本学卒業生でもある専門家の茂木洋平先生に解説頂きます。



講師

茂木 洋平

桐蔭横浜大学法学部准教授

プロフィール
博士（法学）。東北大学大学院法学研究科博士後期課程修了。専門分野は公法学（憲法・行政法）。

著書：アファーマティブアクション正当化の法理論の再構築（尚学社, 2023）、アファーマティブアクションの正当化と批判の憲法理論（尚学社, 2022）、選択的夫婦別氏制をめぐる法理論（敬文堂, 2022）、Affirmative Action正当化の法理論（商事法務, 2015）

2025. **2.7** FRI
15:00 - 16:30

片平北門会館 2階
エスパス ハイブリット開催

参加登録

現地、オンラインいずれも事前登録のご協力をお願いします。
※当日の現地参加も歓迎いたします。



<https://forms.gle/HjxoitNXpydDc9Av9>